

講義名	対)日本語総合B (K56) 【留学生科目】		
担当教員	石橋 明子		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	演習
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
 大学生活や日常生活において必要とされる日本語の基礎的かつ総合的な読解力をつける。この授業では、読解が中心となるが、内容の理解に終わるのではなく、その内容について自分の意見を述べたり、文章にまとめたりもする。また、読んだ文章を要約する作業も併せて行う。

到達目標
 ・大学の授業や日常生活のあらゆる場面において必要とされる日本語の読解力をつけ、その内容が理解できるようになる。
 ・文章内から必要な情報を取り出すことができるようになる。
 ・文章の内容について、自分の意見を述べるができるようになる。
 ・文章を適切な字数で要約することができるようになる。

提出課題
 授業内で読んだ文章の要約、意見などを書く課題を出す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
 宿題や授業内で行った課題は、添削して返却する。

評価の基準
 課題提出（20%）、授業への参加度（20%）、復習確認問題（30%）、理解度確認問題（30%）などをもとに総合的に判断する

履修にあたっての注意・助言他
 毎回の授業で出席をとる。欠席が1/3を超える学生は単位を与えられないので、注意すること。
 授業中は、私語を慎み、積極的な参加を望む。

教科書	.使用しない。				

プリント資料及び参考文献
 プリント資料等は必要に応じて配布する。

授業計画

第1回 授業の説明（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）
 第2回 案内文、ダイレクトメールを読む。
 第3回 広告文、情報・案内文を読む。
 第4回 カタログ、お知らせの文章を読む。
 第5回 説明書や保証書、通知の文章を読む。
 第6回 メールや手紙文、意見文を読む。
 第7回 ビジネスレター、説明文を読む。
 第8回 中間の復習確認問題
 第9回 プラフの説明文、随筆を読む。
 第10回 新聞記事、小説を読む。
 第11回 日記、新聞記事を読む。
 第12回 小説、書評を読む。
 第13回 意見文、長い論説文を読む。
 第14回 説明文、複雑な論説文を読む。
 第15回 期末の理解度確認問題

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
 復習：授業内で学習した項目について、理解の確認をすとともに、新出の語彙や文法などについて理解を深める。 約2時間
 予習：次回学習する読解文章の語彙などを確認する。 約2時間

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
 留学生を対象とした科目群で、日本語の4技能のうち、特に読むことについて実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・整理し、解決できる人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考